

## 防災ゲームを通じて若い方に『自助』と『共助』と『地域防災』に興味を持ってもらおうという取組です

### 講座メニュー

★：特にオススメ

#### ★ 避難所運営ゲーム『HUG』<sup>ハグ</sup>（所要時間 150分程度）

避難所運営者になって、次々やってくる避難者やどんどん起こるトラブルに対応していきます  
避難所運営を疑似体験しながら、災害時の様々な配慮について考えることができます

#### ○ 災害図上訓練『DIG』<sup>ディグ</sup>（所要時間 150分程度）

災害発生時をイメージして、地域の危ない場所や利用できる物などを  
地図に書き込みマップを作ります  
地域の課題を知り、実施の災害対応に活用できます

#### ★ クロスロードゲーム（所要時間 100分程度）

災害時に起こる悩ましい問題にYES/NOで回答し  
なぜそうしたのかグループ内で話し合います  
自分に無かった考え方を知ることができます

問題カードと  
YES/NOカード



#### ★ イツモ防災講座（所要時間 45分程度）

日頃から家庭でできる備えをわかりやすく説明し  
具体的な取組方法を知ることができる講座です  
家具の転倒防止対策や食料の備蓄などのメニューがあり  
具体的な自助の方法について学ぶことができます

#### 埼玉 NEWS WEB

#### 災害時の避難所運営 大学生が防災ゲームで学ぶ 埼玉 坂戸

11月11日 08時16分



埼玉県坂戸市で、大学生が防災ゲームを通じて災害時の避難所の運営を学びました。

防災ゲームは、マグニチュード8.0の大地震が発生し、避難所に指定されている小学校の体育館に多くの人が避難してきた想定で1.0日行われ、坂戸市にキャンパスのある城西大学の学生20人余りが参加しました。

※R4.11.10 城西大学でのHUG講座がNHKに取り上げられました

#### 危機管理課普及啓発担当について

自分のことは自分で守る『自助』と地域のことは地域で守る『共助』の普及・啓発に取り組んでいます  
〈問い合わせ先〉

TEL：048-830-8148

MAIL：a3115-06@pref.saitama.lg.jp

埼玉県マスコット  
コバトン&さいたまっちゃん



## ★よくある御質問

- Q. 学校側は何をやればいいですか  
A. 会場の用意と参加者集め、配布資料の印刷をお願いします  
可能であれば筆記用具もお願いします

- Q. 費用はどれくらいかかりますか  
A. 無料です  
ですが配布資料の印刷等、学校さん  
にお願いする作業の費用は御負担ください

- Q. 準備期間はどれくらい必要ですか  
A. 講座内容の調整や講師の確保、  
資料の準備などが必要ですので、  
おおむね2～3か月程度の準備期間を  
いただいています

- Q. 何人から開催できますか  
A. 決まりはないのですが、  
概ね20名以上でお願いしています

- Q. 教職員も参加できますか  
A. 教職員の方も参加いただけます



埼玉県マスコット さいたまっち&コバトン